

地域の皆様と、学生たちと、ともに学び楽しむイベント、講座のご案内

2018年度後期(2018.10~2019.2)

# 茨城大学図書館の 土曜アカデミー

すべての事業が  
**無料**です

申し込みも  
**不要**です

どなたでも  
ご参加  
いただけます

2019年、茨城大学は  
創立70周年



**主催 茨城大学図書館**  
共催 茨城大学COC統括機構 社会連携センター

## 秋の文化財・歴史資料の曝涼・公開2018 プレイベント

【日時】 2018年10月6日(土) 13:00~15:00

第一部「謎の岩窟遺跡? 常陸太田市香仙寺直牒洞を科学する!」

【講師】 三宮 治穂(香仙寺住職)、三井 猛((有)三井考測代表取締役)  
高橋 修(茨城大学人文社会科学部教授)

第二部「ここが見どころ! 2018公開の文化財・歴史資料から」

【講師】 山口 憲一(常陸太田市教育委員会 主任)、中林 香澄(常陸大宮市教育委員会 主幹)  
千葉 隆司(かすみがうら市歴史博物館 学芸員)

【内容】 文化財・歴史資料を、それを伝えてきた所蔵者や住民の手で、「曝涼」というローコストな昔ながらの手法で保存・公開する事業が、三自治体で開催されます。今年も、茨城大学で歴史を学ぶ学生たちが解説・「おもてなし」に参加します。そのプレイベントとして、公開される文化財・歴史資料にかかわる調査・研究成果をご紹介します。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール 【共催】 かすみがうら市教育委員会、常陸太田市教育委員会、常陸大宮市教育委員会

【後援】 茨城大学人文社会科学部歴史・文化遺産コース(歴史・考古学メジャー)、茨城史料ネット



香仙寺直牒洞

## 読売新聞連携講座 茨城から考える新たな時代の食と農業

【日時】 2018年12月1日(土) 13:30~15:30

【講師】 宮口 右二(茨城大学農学部教授)、成澤 才彦(茨城大学農学部教授)  
木ノ本 知弘(日本貿易振興機構茨城貿易情報センター(ジェトロ茨城)所長)  
伊東 明彦(もりや循環型農食健協議会(もりあく)代表)

【内容】 茨城県は農業産出額全国第2位を誇る農業県です。とくに、レンコンやメロン、栗、鶏卵などは全国1位の生産を誇ります。一方で、食のグローバル化や技術革新などにより農業を取り巻く環境は加速度的に変化しつつあります。そうした中で茨城県としてどのような農業を志向し、どのように人材や食への意識を育てていけば良いのでしょうか。地域の農産物の健康機能に着目したブランド化、農業を活かしたコミュニティづくりなどを事例に、新たな時代における農・食と地域の私たちがとのかかわりを、一緒に考えたいと思います。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール 【共催】 読売新聞水戸支局

【後援】 一社)もりや循環型農食健協議会(もりあく)、NPO法人茨城県食育協会



## 聞いてみっぺ・語ってみっぺ・方言昔話3

- 【日時】 2018年12月8日(土) 14:00~16:00  
【講師】 杉本 妙子(茨城大学人文社会科学部教授)  
【内容】 知っているお話も、方言で語られる昔話(民話)はとても味わい深いと思いませんか?しかも、同じお話でも方言によって違ってお話に聞こえてきます。それが、暮らしの中で育まれてきたことば=方言の力でしょう。本講座では、茨城弁の昔話や東北弁の昔話などを、それぞれの地域出身の方々に語っていただきます。いろいろな地域の方言の昔話(民話)を皆さんといっしょに楽しみながら、方言の働き・昔話の魅力を考えたり再発見したりしたいと思います。  
【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール  
【後援】 茨城県教育委員会(予定)



## 水戸ホーリーホックのフットボール・カフェ

- 【日時】 2018年12月15日(土) 15:00~17:00 ※開場は14:00  
【出演】 水戸ホーリーホック・トップチーム選手若干名(当日発表)  
水戸ホーリーホック・営業部の皆さん  
寺田 忍(茨城大学OB、水戸ホーリーホックホームゲームスタジアムDJ)  
ホーリーくん(水戸ホーリーホックマスコット)  
【顧問】 藤縄 明彦(茨城大学水戸ホーリーホック応援ネットワーク代表代行、理学部教授)  
【内容】 第一部「明日の水戸ホーリーホック」  
第二部「フットボールの青春—選手座談会—」  
水戸市等をホームタウンとするプロサッカークラブ・水戸ホーリーホックと国立大学法人茨城大学は連携協定を結んでいます!フットボール・カフェは、両者のコラボで実現するトークイベントです。第一部では、クラブ・スタッフの皆さんと、ホーリーホックの将来像について語り合います。第二部では選手を迎えて、スタジアムDJを担当する寺田忍さんが、フットボールの魅力、Jリーガーの素顔に迫ります。  
【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール 【共催】 FC水戸ホーリーホック 【後援】 茨城大学水戸ホーリーホック応援ネットワーク



2017年度の会場風景

## Pleasure Reading 入門 ~楽しく英語を読もう!~

- 【日時】 2019年2月2日(土) 13:30~15:00  
【講師】 上田 敦子(全学教育機構准教授)、佐々木 友美(全学教育機構講師)  
【内容】 「英語多読の魅力を紹介」  
英語の本を何冊も読む?そんなに読めない!と思うかもしれませんが、でも大丈夫。難しいことではありません。やさしい本をスイスイ沢山読むことで、まるで日本語を読むように英語を読むことができるようになります。  
例えば皆さんのこんな疑問に答えます。  
■やさしい本だからこそ意味がある?!  
■辞書をひく必要がない?!  
■つまらなかったらやめていい?!  
■日本語に訳さなくてもいい?!  
■本当に100冊も読めるの?!  
茨大の図書館は英語多読図書の宝庫!多読の魅力を感じてみませんか?  
【会場】 茨城大学図書館本館1階ラーニングcommons  
【後援】 茨城大学全学教育機構 Practical English専門部会



## みんなの考古学 どきドキ講座2018

- 【日時】 2019年2月9日(土) 15:00~16:30  
【講師】 田中 裕(茨城大学人文社会科学部教授)  
【内容】 「『貧窮問答歌』の「里長」とは何者か—城里町徳化原古墳の発掘調査に向けて—」  
奈良時代の公民の貧窮ぶりを知ることができるということで有名な山上憶良の「貧窮問答歌」(『万葉集』第五)には、過酷な取り立てを行っている「里(五十戸)長」の姿が、写実的に歌われています。この歌により、庶民が直接恐れた収税吏としての「里長」が広く知られている一方で、ほかの史料は少なく、その実像は謎に包まれています。今回は、茨城大学田中研究室が発掘調査を予定している城里町徳化原古墳を手がかりに、知られざる「里長」の系譜に迫ります。  
【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール  
【後援】 茨城大学考古学研究会



徳化原古墳 石室現状及び調査風景(南から)

## 古文書寺子屋 はじめの一步

【日時】 2019年2月16日(土) 13:00~16:00

【講師】 千葉 真由美(茨城大学教育学部准教授)、添田 仁(茨城大学人文社会科学部准教授)、木戸 之都子(茨城大学人文社会科学部助手)

【内容】 「はじめの一步」、1年ぶりに開催します。当講座で、江戸時代の古文書を読んでみませんか?江戸時代の“茨城”に生きた人びとのすがたを、図書館所蔵の古文書をテキストに読み解いていきます。古文書を一度も読んだことがないという方、少しだけ読んだことはあるけれどまだまだ慣れないという方、大歓迎です。「くずし字」を解説するはじめの一步、学生と一緒に、基礎からじっくり学びましょう。

【会場】 茨城大学図書館本館1階ラーニングcommons 【後援】 教育学部千葉ゼミ、人文社会科学部添田ゼミ、茨城史料ネット



## ブック・カフェ

①【日時】 2018年10月20日(土) 13:00~14:45

【テキスト】 サリンジャー『ナインストーリーズ』(新潮文庫、1974年、562円など、どの出版社のものでも)

謎の多い作家、サリンジャー。特に、村上春樹が2003年に訳した「キャッチャー・イン・ザ・ライ(ライ麦畑でつかまえて)」が有名です。テキストは9つの短編を収めた「ナインストーリーズ」を挙げますが、好きな作品について、訳者による翻訳のちがいなど自由に意見を交換したいと思います。自分はサリンジャーは苦手という人もどうぞごいっしょに。この作家の持つ力やアメリカの現代文学についてなど解説します。

【日時】 2018年10月20日(土) 15:00~16:00

【内容】 ブック・カフェ:スペシャルトーク

土曜アカデミーのスタートとともに始まった「ブック・カフェ」は5年目にはいります。これまでに読んできたたくさんの作品・作家をふりかえりつつ、参加者のみなさんと楽しく語りあう「スペシャルトーク企画」です。

「ブック・カフェ」を支えて下さっているみなさまと文学への感謝の思いをこめて開催します。ぜひ、楽しいひとときをご一緒に下さい。

②【日時】 2018年12月15日(土) 13:00~14:45

【テキスト】 サマセット・モーム「雨」(『雨・赤毛』新潮文庫、1959年、497円など、どの出版社のものでも)

ストーリーのおもしろさ、文章の平明さで高く評価されてきた大作家モーム。長編「人間の絆」や「月と6ペンス」も読みごたえがあります。今回は、短編の名作「雨」をとりあげますが、ぜひ、お好きな作品から入って下さい。作家の人生と作品との関係にも注目していただきながら、モームが描く「人間」を読み解いていきたいと思っています。

③【日時】 2019年2月9日(土) 13:00~14:45

【テキスト】 中島敦「李陵」(『山月記・李陵』岩波文庫、1994年、929円など、どの出版社のものでも)

唐の時代、隴西の詩人・李徴が虎になってしまう「山月記」を教科書で習った方も多いでしょう。その「山月記」と並ぶ名作「李陵」を取り上げます。司馬遷は匈奴の俘虜となった李陵将軍をかばったために武帝の怒りを買って、投獄されます。…本作のほかにも中島敦は『西遊記』をもとにした作品も書いており、中国の歴史や文学を題材にしたさまざまな作家たちの「歴史小説」についても語り合いたいと思います。

【ナビゲーター(講師)】 西野 由希子(茨城大学人文社会科学部教授)

【内容】 誰でも聞いたことがある、以前に読んだことのある「名作・古典」を読んで集まり、西野先生のレクチャーを受けながら、グループに分かれて語りあいます。これまでどちがった本の読み方ができ、作品への理解が深まります。はじめて参加する方も気軽においでください。読書の幅を広げ、本を読む楽しさを味わいましょう!

\*テキストはお持ちのものなど、どの出版社の版でもかまいません。できるだけ、事前に読み、当日その本を持っておいで下さい。お好きな回数だけの参加も可能です。

\*お飲み物は各自で負担いただけます。「サザコーヒー茨大ライブラリーカフェ店」を会場にしていますので、各作品・作家と「コーヒー」に関する「豆(ミニ)トーク」もお楽しみに!

【会場】 茨城大学図書館本館1階ライブラリーカフェ(エントランスホール集合) 【後援】 人文社会科学部西野ゼミ



## サイエンス・トークin日立

【日時】 2018年11月18日(日) 11:00~12:30 ※11月17日(土) 開講から変更になりました。

【講師】 稲垣 照美(茨城大学図書館工学部分館長、工学部教授)

【内容】 「自然が有する光と色と音の不思議な世界」

産業革命以来の科学技術の急激な発展とともに地球環境への負荷は際限なく膨張し、今やその再生能力を大きく超えています。地球環境の急激な劣化は、人類存亡の危機と言っても過言ではありません。そして、21世紀は、環境・福祉・情報、バイオテクノロジーそしてエネルギーの時代と言われています。このような時代には、低環境負荷や省エネルギー技術などと調和した21世紀に求められる処方箋とも言うべきイノベーションが必要となります。この時間では、これら大きな環境問題に関係するけど対極かつ人に優しい話題をいくつか(自然が有する光と色と音)取り上げながら話題交換します。

【会場】 茨城大学図書館工学部分館ラーニングcommons(日立キャンパス)



【日時】 2018年11月4日(日) 13:00~15:00

【講師】 小林 英美(茨城大学五浦美術文化研究所所員、教育学部教授)

市川 千恵子(茨城大学人文社会科学部教授)

【コメンテーター】 清水 恵美子(茨城大学五浦美術文化研究所所員、全学教育機構准教授)

【内容】 岡倉の最初の英語著作『東洋の理想』はイギリスの出版社から刊行されました。まだ無名であった彼の著作に需要を見込めた出版社の動機を、当時の日本趣味ブームと出版事情から探ります。具体的には、当時の日本趣味概観に続いて、旅行記作家イザベラ・バードの『日本奥地紀行』について考察した上で、新発見の英文書簡の分析を踏まえて、ジョン・マリー社の出版事情を明らかにします。後年の『茶の本』成功の起源を知るセミナーです。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール 【共催】 茨城大学五浦美術文化研究所



## 茨城大学図書館2018年度後期企画展

# 「五浦から世界へ 旅する岡倉の眼差し」

岡倉覚三(天心)の年譜をみると、旅に明け暮れた一生であったことがわかります。美術官僚時代、米国と欧州を1年間旅し、新しい日本美術のビジョンを得ました。その方向性は帰国後開校した東京美術学校の教育方針に反映され、日本美術院の理念に引き継がれました。清やインドの遺跡に足を運び、日本美術とアジアの関係を確信しました。現場での実見をもとに日本美術史を構築し、1903年『東洋の理想』を著しました。旅先で彼が親しく交わった人々、ヴィヴェーカナンダ、タゴール、ラ・ファージ、ガードナーなどは、岡倉の思想に影響を与え、彼の人脈を広げ、その人生を次のステージへと導いていきました。『日本の覚醒』(1904年)も『茶の本』(1906年)も旅と出会いの中で生まれたものです。これらの旅を通して岡倉は国際人になっていきました。本展覧会では岡倉の海外への旅にフォーカスし、旅先で出会ったひと・モノ・コトが彼の生涯にどのような光と影を投げかけたのかを考えます。

【会場】 茨城大学図書館本館1階展示室

【会期】 2018年11月4日(日)~18日(日) 平日 10:00~16:00、土日 11:00~17:00

【共催】 茨城大学五浦美術文化研究所

茨城大学では、土曜アカデミーの他にも社会連携センターにおいて公開講座・公開授業を開講しています。詳細は、茨城大学社会連携センターwebサイト<http://www.scc.ibaraki.ac.jp>でご確認ください。

問合せ先 茨城大学社会連携センター TEL 029-228-8413

### 問合せ先

茨城大学水戸キャンパス 〒310-8512 水戸市文京2-1-1

図書館 本館 TEL 029-228-8076 e-mail ser-lib01@ml.ibaraki.ac.jp

茨城大学日立キャンパス 〒316-8511 日立市中成沢町4-12-1

図書館 工学部分館 TEL 0294-38-5012 e-mail ko-tosho@ml.ibaraki.ac.jp

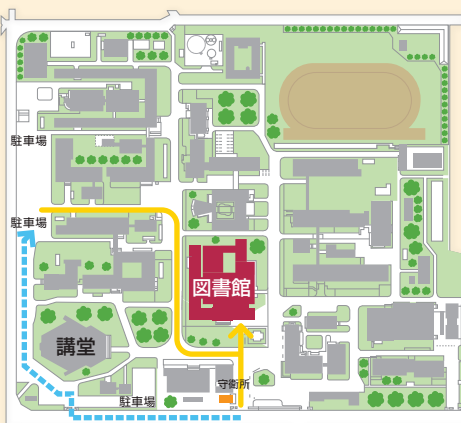
### 水戸キャンパス



JR水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行(栄町経由)」に乗り、「茨大前」で下車。時間帯によっては、「茨大正門前」(最寄り)で下車することができます。(バス乗車時間は約25分)

本事業は、自然災害等により中止となる場合があります。最新情報は、茨城大学図書館webサイト<http://www.lib.ibaraki.ac.jp/>でご確認ください。

### 水戸キャンパス内案内図



※車でお越しの際は、守衛所(■)で入校許可証を受け取り、車で矢印(←)の通りに進んだ先の駐車場にお止めください。

### 日立キャンパス



JR日立駅(中央口)から日立電鉄バス、中央線経由「平和台行3」または「小咲台行4」に乗り、「茨大前」で下車。JR常陸多賀駅から日立電鉄バス、中央線経由「日立駅行3」または「日立駅行4」に乗り、「茨大前」下車。いずれもバス乗車時間は約10分。

\*車でお越しの際は、正門横の守衛所で入構証を受け取って入構してください。